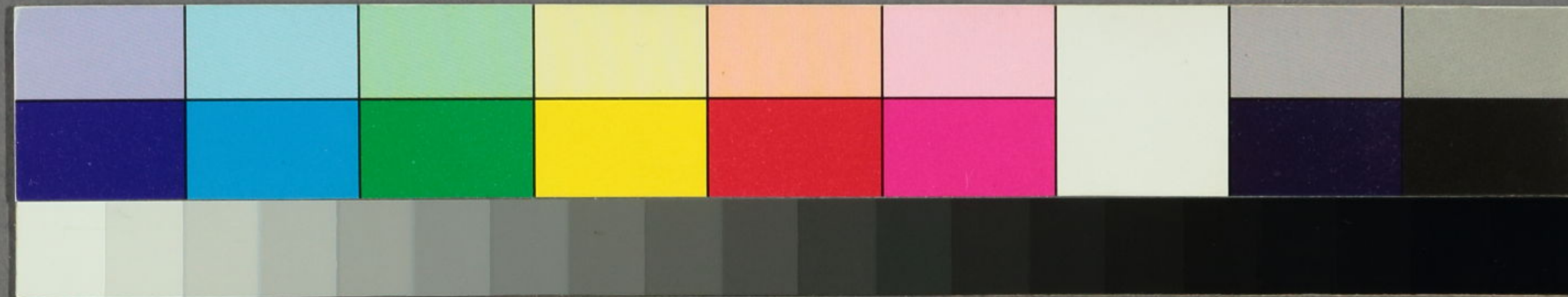


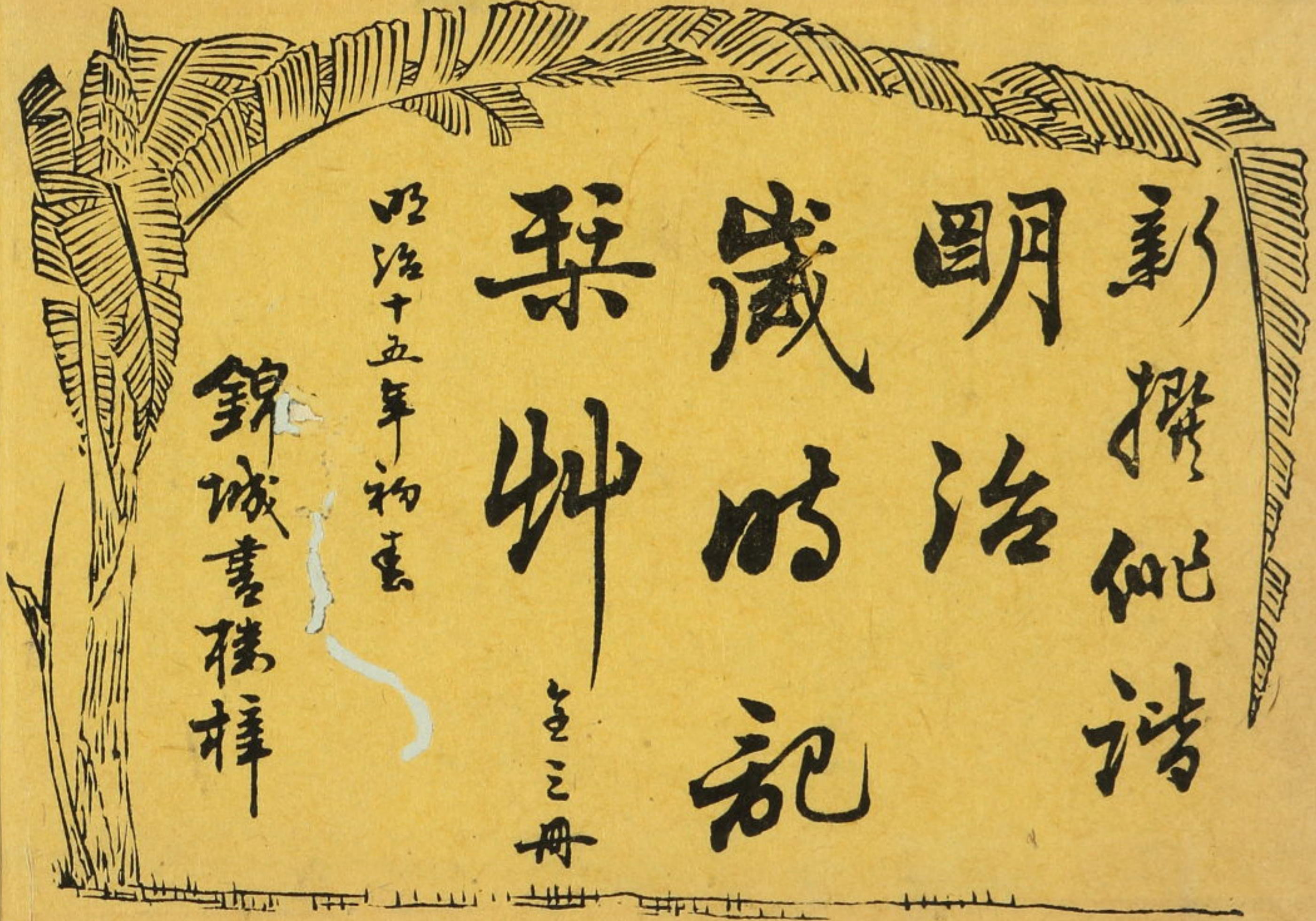
新撰  
 三葉  
 榊  
 雅  
 撰  
 尾  
 明  
 治  
 歲  
 時  
 記  
 桑  
 州  
 上





此親王是為之化陶像子做以天祿皇  
紀也皇年送寸其一辨之合之爰之載寸  
文強堂主人

花之下神詠  
久乃老多其  
天久根之  
吾昔也之部海書  
真常  
神之字



明治十五年初春

錦城書樓拜

新撰仙譜  
明治  
歲時記  
梨州  
卷之冊



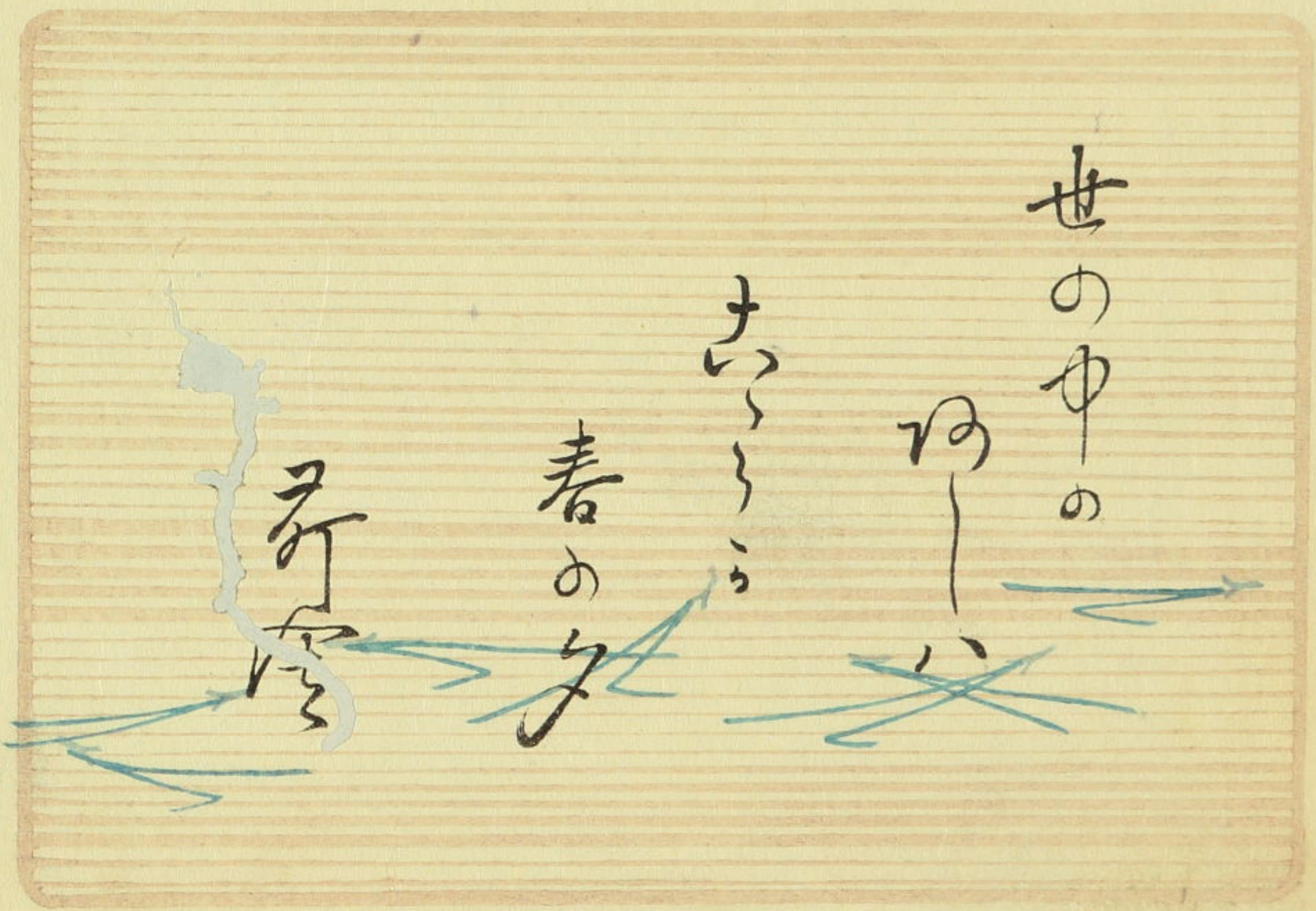
世の中

の

の

春

の



此御書の内容は、  
その中に、  
乃、  
或、  
と、  
傷、  
ま、  
大、  
て、  
可

若くは得ようを司の務禱をよ  
もはつらつとせしむるもて首  
と係りしもの初めうすくを  
まゝそとせしむるもて同  
らふよとせしむるもて  
くら大人の思ふ所を  
あつきのあけけしむるも  
まゝそとせしむるもて  
たゞそとせしむるも

多子 三月 春 湖

俳諧を考むる騷人必也  
今の的直を要す今六華  
開明の秋は當り陰曆革り  
大湯磨とがる先輩編述の歳  
時記葉艸有と雖も紛紊重敷  
さく着岸を失ふ固てさく者捕  
原のま再び精選一々革曆の  
秘ふを得せしむるもて又校訂  
をこし是を管閑を送るも

正訂堂亮とて附るゝ志句  
を舉たり真の依徒の軌範  
と言ふへし此道一進志の  
士一日も措へらば此道不和の  
至といふへし此言を以て序の  
先の爾

明治十五年壬午春二月

等裁



凡例

一 全書二編八條の諸式を  
巻頭を註釋し諸の初  
假字以て分ち初心の御  
難きを標注を如く次より  
表波三段の表格を因縁  
切りの續く辭の意を説  
語彙語句を以て能初心  
の如くや寸規を有と寸並  
るゝ切字の語句數百を  
卷けおくる格式の辨裁

をわくもの 全編を寸

一此書子類ひすは他書世も多  
しやうくとも大方ハ新学者哉  
仍者等の新い書辭の價  
ひき受むの爲古書より抜  
萃し以て私意を加へ一編  
を成たる者のこも久故  
望し要と缺蛇是を添ひて  
却て初心を感すに及ん況  
知尔者波は於るに其の  
域よりしるや者の僅り

八衢の一節を少くも限り  
言の華は道と彼より何れ寸  
是よりあらはれ杯櫻よ古人の白  
よきを入て其意を久ふた  
もサ一とせ寸此書手尔者  
波ハ橘中類人の助辞本義  
一覽若枝の義門大徳の活  
語指す由武花の黒原の御磨  
ろ人の言靈抄等の書照  
準して吾侪活用法とせよ  
櫻ねる書なれハ此道よ

族母書より引くものあり。一  
一 仙蹤のりりい古より歳  
浪子。歳時記等の書あり  
よりいへり。白尾の鶴。纏  
尾。子さす。又鶴子。合笛  
ひ。又鹿笛等の事あり  
と其具を用ふる人  
思合して其實際と名に  
阿くして引書を海とせ  
し物これハ昔實際とて  
多し改む本書より見へ

一 古より二段切。三段切。を  
廻し。大廻し。又何々。玄妙切。  
法名。海白あれも其格と合  
の。て吾正法の名と計を  
さす者本本文より除く必  
者。客彼と名と取捨する事と  
はたまあり

一 本文筆より有ハは。筆と  
書と引用したる者なり。古海  
云何と何ハ最初上巻中を  
其人より行せしと書肆是と

得て予は推して予は其を  
見れば之を推して予は其を  
を推して予は其を推して  
上中下と有り故に古海の説を  
故て脱除せされし其を  
之を

一本文中尚委しきハ能事手  
表波揮ふに依るんを  
ハ近刻すしき書とす

明治十五年三月 香楠居士の撰述

新選 俳諧 明治歳時記 梨艸

目錄

○卷之上

俳諧諸體之略解

- 千句式
- 米字式
- 易行式
- 長歌式
- 歌仙行式
- 十八公式
- 句數之事
- 百韻式
- 七十二候式
- 源氏行式
- 四十四式
- 短歌行式
- 首尾行式
- 句去之事

四季之季寄

目錄

○壹



○一月	八丁	○二月	十一丁
○三月	十三丁	○四月	十五丁
○五月	十七丁	○六月	十九丁
○七月	廿一丁	○八月	廿四丁
○九月	廿七丁	○十月	卅一丁
○十一月	卅二丁	○十二月	卅四丁

○卷之中

○去嫌之式	○天象
○聳物	○降物
○風體	○火體
○夜分詞	○非夜分詞
○山類詞	○非山類詞
○水邊詞	○非水邊詞

○神祇詞	○非神祇詞
○釋教詞	○非釋教詞
○兩部詞	○人倫詞
○非人倫詞	○居所詞
○居所用詞	○非居所用詞
○動物	○植物
○不高植物	○支體
○不低植物	○旅體
○病體	○旅體
○食類詞	○器財
○書體	○衣食類
○非衣食詞	○戀詞
○非戀詞	○述懷詞
○非述懷詞	○無常詞

- 名 所
- 字去部
- 字去別吟
- 附字之事
- 賦物之事
- 月之句作心得
- 花之句作心得
- 褒美之正花
- 非正花分
- 天尔越波大槩

○卷之下

- 發句切字
- 本辭圖 辭一變圖 全二變圖
- 辭一變之部
- 辭二變之部

天爾越波証句

- 哉之部 九丁
- や之部 十二
- し之部 十五
- も似し部 十五
- ト之部 十亨
- なをりなを 全上

- り 全上
- あり 全上
- る 全上
- をや 全上
- やう 十七丁
- らん 全上
- こそ 全上
- 以も 全上
- 又 全上
- をね字 全上
- そ 全上
- つ 全上
- よ 全上
- の 全上
- 切字表 ななき白 全上
- 早のぬ 十九丁
- 介知 全上
- す 全上
- ま 全上
- の 全上
- 歌仙
- 連句
- 三物
- 和漢
- 昭附
- 半歌仙
- 表合
- 裏白
- 百韻

目錄終

新選 俳諧 明治歲時記栞草卷之上

東京 小築庵春湖 閱  
全 香楠居幹雄 編  
全 佳峯園等哉 校  
大阪 黄華庵南齡 校

一 俳諧之式

千句 百韻 卷字 七十二條 易行  
源氏行 長歌行 四十四條 歌仙  
短歌行 十八公 百韻 卷尾 歌仙 卷尾  
裏白 面合 三物

○ 千句式

百韻十卷なり 昔句を四巻  
に定む 春三句

夏二句 秋三句 冬二句

○ 百韻式

一 抄 裏十句 初表と云九句目月  
十二句目花の空程

二 抄 裏十四句 初表と云九句目月  
十二句目花

一折 三裏十四句 二表同く 十二句目花  
 二裏十四句 二表同く 十二句目花  
 三裏十四句 二表同く 十二句目花  
 右四折合て白駒なりと初の三折とを子駒と云

○米字式

一折 面八句 初表と云 七句目月の立花  
 二裏十二句 七句目花  
 二面十二句 十一句目月  
 二裏十二句 初裏と云 七句目花 十一句目花  
 二面十二句 二表と云 十一句目月  
 二裏十二句 二表と云 七句目花 十一句目花  
 三裏十二句 二表と云 七句目花 十一句目花  
 三面十二句 二表と云 十一句目月  
 三裏十二句 二表と云 七句目花 十一句目花  
 名跡面十二句 二面と云 十一句目月  
 裏八句 七句目花の立花  
 右四折より七花四なり梅よりに米字をいへり作ると  
 以て初と基とを後世好事者の作りかたるとのなれ

○七十二候式

はる白駒乃中二の折面裏共一折二平八句梅と云と花と  
 跡七十二句是なり月花の立花と白駒とをけり

易行式

面八句 七句目月  
 裏十二句 七句目花  
 二面十二句 十一句目月  
 二裏十二句 初裏と云  
 名跡面十二句 二面と云 十一句目月  
 名跡裏八句 七句目花  
 右二折月と花とを

○源氏行式

一折 面六句 初表と云 八句目月の立花  
 裏十二句 初裏と云 七句目月 十一句目花の立花  
 二面十二句 十一句目月  
 二裏十二句 初裏と云 七句目月 十一句目花  
 名跡面十二句 二表同く 十一句目月の立花  
 裏六句 八句目花の立花  
 右二折より五ツ花と名跡の法の如しはよき他と下の  
 折二十四句添と云とれなり

○長歌行式

面八句 七句目月  
 裏十六句 九句目月 十一句目花  
 名跡面十二句 十一句目月  
 名跡裏八句 七句目花  
 以て二折月と花とを



五句目 ハ 月の空際なり月の句をまじし月を結して月  
又杖の句をけて杖三句つらふべし

六句目 ハ 杖を結して初表とては神祇形を結して  
出候等の句をせば

一ウ ハ 是より初表とては裏角とては  
は次神祇形を結しては神祇形を結して

阿け句 ハ 神とも世袖ともいふ神祇の句なり  
意の句なり阿け句も意なり神祇の句なり并  
祇よりまじし解をまじらふ

句数月花の言はれまじりては歌仙の言を  
まじりては句数仕やうより味ひ知れし

○首尾行式

歌仙 初表 六句 五句目月 合して十二句

百韻 初表 八句 七句目月 合して十二句

裏白 八句 表けりまじりては合 合して十二句

三ッ物 後句 照 第三 三句 三句 三句 三句

月 後句 照 第三 三句 三句 三句 三句

花 後句 照 第三 三句 三句 三句 三句

但月花を第三三句とては三句より初表の句  
也

後句 意なり八腕も意なり  
まじり

後白 初表なり八腕も意なり  
より有りまじり

合席 合して三句なり  
合して三句なり

連句 歌仙形と百韻の二を  
合して三句なり

一順 後句より合席の人数を  
合して三句なり

回島 一人を二句つづけて  
合して三句なり

前句 我前とて初句の句を  
合して三句なり

遅吟 白作のおそき句を  
合して三句なり

巻頭 後句の句を  
合して三句なり

即座 其席まで直に  
合して三句なり

加筆 句の何れを解して  
合して三句なり

非諧之式 上 〇四

再遍 右の人数を句を三句  
合して三句なり

吟考 句を三句つづけて  
合して三句なり

獨吟 歌仙とては百韻まで  
合して三句なり

打越 初句の句を  
合して三句なり

秀逸 まじりては句を  
合して三句なり

添削 一句の直にまじりては  
合して三句なり

批言 句の何れを解して  
合して三句なり

褒美 句を三句つづけて  
合して三句なり

筆句 フデクトハ連中ハの執筆より成る **お越燭** ウチコキキトハ付てお茶一ツ  
句とて五言句なり執筆  
句とて五言句なり執筆  
但し筆句は能く

二句云 ハハ句より二句云々 **二句云** ハハ句より三句云々

字云 ハハ句より二句云々 **五句云** ハハ句より五句云々

七句云 ハハ句より七句云々  
四季竹田の松海 夢渡月松枕烟 五句云  
はかぬ句よりても五句云々

面云 ハハ句より二句云々  
但し春も下面裏も下面と云なり表裏の面と  
何と云て見ても下面のみなり

折云 ハハ句より二句云々 **二句云** ハハ句より二句云々

○句數之事

春の秋 ハルアキ 三句より五句云々 **夏冬** ナツフユ 二句より三句云々  
春と秋は二句より三句云々  
夏と冬は二句より三句云々  
春と秋は二句より三句云々  
夏と冬は二句より三句云々  
**神祇** シラキギ **釋教** シヤキョウ **旅** カビ **迷懷** シツライ **水邊** スイヘン

夜分 ヤブン **屋防** キヨシヨ **人倫** ジンリン **人倫** ジンリン

園名 コク **名所** メイシヨ **陰物** アリモノ **動物** ドウブツ

植物 シヨクモツ **時作** ジコウ **衣類** イルキ **天象** テンシヤウ **飲食** インシヨク

藝術 ゲイノク **火伴** カバトナリ **書作** シヨテイ

句去之事

人倫 ジンリン **人名** ジンメイ **園名** コクメイ **名所** メイシヨ **陰物** アリモノ **動物** ドウブツ

陰物 アリモノ **濁假名** ニホリカナ **二字假名** ニジゴカナ **火伴** カバトナリ

風伴 フウトナリ **物と夕と替りたる時分** モノトユトカハ **日月早と** ニツゲツホシ

替りたる之物 ヒカリモノ **本と竹と草と替りたる植物** ホントタケトクサトカハ

花と獸と替りたる動物 ハナトケモノトカハ **おろりても同じ**

同字 **動物** **植物** **時分** **夜分**

衣類 **迷懷** **獵漁具** **旅伴** **屋防**

神祇 **釋教** **志** **山景** **水色**

ひらひらと白くなり面影を留めても同じ回字を付くも短  
くも音調を付けて別版なれも付くも音調を付くも  
概二句を佈のうまきほを三句を佈の本のうまきほの  
方極物をれ二句を三句を佈して知るべし

月 松 竹 田 夢 涙 枕 衣  
朧 烟 回孝 以上三句を面影として同じ月  
とひらひらと面影として同じ月

同増補新撰

父母 男女 人信の凡例ありシユ 主 誰 為  
獨 蝶 以上三句を人信の凡例ありシユ 傳 奇 生  
人信の凡例ありシユ 親 皇 女 天童  
天女 帝 法門 仙洞 新院 佛  
鬼 以上十句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ  
名茶 子規 松虫 水仙 水雞  
脛 尾上 以上七句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ  
雷 雨 以上二句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ

ハ甲子くわらマツウラ 魚 蟲 車 飯 餅  
茶 酒 以上七句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ  
松子子の日 月 以上二句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ

飲 糸 篠 以上三句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ  
山伏の類 夜分 以上二句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ

開加 庭 大 掃 寝 起 以上五句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ  
虫 碓 以上二句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ

冠 烏帽子 綿 以上三句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ  
雨 鷹 鷹 以上三句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ

古今の道 除 師 以上三句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ  
古今の道 山 峯 風 嵐 以上四句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ

古今の道 山 峯 風 嵐 以上四句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ  
古今の道 山 峯 風 嵐 以上四句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ

古今の道 山 峯 風 嵐 以上四句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ  
古今の道 山 峯 風 嵐 以上四句を古式で種々伝へられも人信の凡例ありシユ



名跡園名在名多或も官名苗字人など  
とて呼ぶる名ありけり此水色山松中流  
にそよぐの件と通らるり

時々此草木草物匂飲合物とぞれを孝  
と持たぐり柱物と通らるり魚も秋も倉  
物とぞれは経孝も持たぐり物と通らるり  
彼も或る種松のありと孝も持たぐり仰  
ら通らるり

釋奠 孝林二反 春 後との 林

喜笑入 孝林二反 春 後との 林

雛 孝林二反 春 後との 林 但身なかり

孝の順 孝林二反 春 後との 林 但身なかり

古代より初表の内燈ひきり物の中へ古

人の名のことと信受云家 今令廣 武家田或も

吾人儒者医者百姓町人能役者職人もの

神祇釋教意孝 シユウクワイアイシヤウ 孝徳哀傷ありけり

古人の名に表の内若くは尤もまゝ在

りては是へ一同名ありて神祇釋教意孝

孝徳懐保にけりけり名も及び園名形村の

おる表の内若くは尤もまゝ在

野々白立浦夜作云七十一作花信詩抄云之

本々俳諧云取捨有事也詩書と約も回断七

十二作子情惆悵云長詩云情性杖云あれと

連俳ともは喜照と如字に牡丹喜花信有り

棟表是号と連俳とて長なりは別と知るは

なる事を思ひし能くを繕乱をさすに由  
 時の四季正月元日より十二月まで  
 詳細に記載し不通なる事を記す  
 作興のことに注意を要すること取らざれば  
 けり如く句とじて面八分裏十四句月花  
 去嫌やある約の法式少くも遠く一  
 てる約法に次て後二百約式後三約と  
 呼なり  
 但作興より二百去之句去れ物を式五  
 句去七句去面去折去物となく二百去  
 くとすなり

四季部

一月	大呂律	小寒	大寒	中	殷正
抄冬	立冬	臘月	菴首	歲始	
肇年	改年	甫年	更始	年始	
復新	新正	履端	開端	改旦	
歲始	聖旦	上白	雜旦	端月	
睦月	初室月	祝月	春宵月	元日	
元朔	元旦	三始	三元	三朔	

元日以下予考をいいて  
 おまをれとも節と出  
 初室 一室一 初室一 初室一  
 初旦 一室一 初旦一 初旦一  
 初室 一室一 初室一 初室一  
 初旦 一室一 初旦一 初旦一  
 初室 一室一 初室一 初室一  
 初旦 一室一 初旦一 初旦一

四季部 一月 上 〇八  
 原殿東階の前後は屏風を建廻し中に中庭を設け  
 燈籠と備へはあまて天皇親ら御掃の式あり天地四方及び山



初子廻り 縁四一 物あく 縁坊 糸ハヒ 糸ハヒ 糸ハヒ  
大馬路 破魔牙 松雅 彦引 初引  
手鞠 手鞠 羽子板 羽子板 羽子板  
花筒 花筒 花筒 花筒 花筒  
連歌 連歌 連歌 連歌 連歌  
鏡開 鏡開 鏡開 鏡開 鏡開  
白馬 白馬 白馬 白馬 白馬  
初子 初子 初子 初子 初子

初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子  
初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子  
初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子  
初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子  
初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子  
初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子  
初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子  
初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子  
初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子  
初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子 初子の初子

賭弓 ハリニミ 十八日弓場殿にて  
天正弓と庄屋の儀  
同慶系 エンマキ 十九日

後の事との  
正月なり  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

正月の事と  
正月の事と  
正月の事と

四季部二月 上 〇十一

早棧 早咲一冬

雪の入一冬

春

大碑 帝 句芒 神 蒼天 青帝  
東皇 春 昭光 夏正  
陽公

二月

大獲 律 立 春 雨 水 中 孟 春  
早 春 新 春 舊 春 秋 春 首 春  
孟 春 規 春 開 春 春 陽 初 陽  
少 陽 孟 陽 新 陽 孟 陽 陽 月

瞳月

春 日 景 一 日 板 園 空 日 榜 聲 空 日  
新 年 阻 節 井 子 一 日 二 日 三 日 四 日 五 日 六 日 七 日 八 日 九 日 十 日 十一日  
大 正 時 空 山 姥 紀 之 言 十 一 日 時 武 王

仁孝之白と空 共百

村 一

の 谷 一

音 万 一

長 閑 一

山 知 一

物 之 一

鳥 一

百 子 名 一

喜 鷹 一

鈴 子 之 一

猫 之 妻 一



梅月 小正月

イッモ 吉野の怪配 同 初年

ギヤウキマキリ 遺愛煙 九日 常樂舎 十九日

シラタイマツ 出歳 十日 祇園八條 同日

列見 十日 二日午の細い如く行ふ能なり 門前の石燈

また各寺に無福も南無と申すのよみて行ふ能なり 門前の石燈

二日午此行 寺あり水有と井阿里百

花井くと唯を井と水編くと 浦如る之を汲み札を押しを良る 狹井

献生子 一日又那てまき袋に穀 小神作忌 山崎 廿日

芝のち茶 十日 廣田茶 十日 宇佐茶 十八日

妻季里茶 十日 妻季神殿茶 廿日 初年 初年 初年

油揚を佐御 雑曲 四二月上十日 八月下十日 妻林茶

小正月

ヨシノ 吉野の怪配 同 初年

ユキケウキマキリ 遺愛煙 九日 常樂舎 十九日

ヒラハツコウ 十日 祇園八條 同日

タキ 十日 新の能 十四日

セウケン 十日 二日午の細い如く行ふ能なり 門前の石燈

また各寺に無福も南無と申すのよみて行ふ能なり 門前の石燈

二日午此行 寺あり水有と井阿里百

花井くと唯を井と水編くと 浦如る之を汲み札を押しを良る 狹井

献生子 一日又那てまき袋に穀 小神作忌 山崎 廿日

芝のち茶 十日 廣田茶 十日 宇佐茶 十八日

妻季里茶 十日 妻季神殿茶 廿日 初年 初年 初年

油揚を佐御 雑曲 四二月上十日 八月下十日 妻林茶

子二九折也 飾り 頭念佛 被居 時 淫祭舎 一 條

佛の列 彼居 中より三日の時 淫祭舎 一 條

治聲酒 社り酒とのめを耳のを 社日 北成口あり

げりあふる雨と云ふ 社日 北成口あり

らでをなく像て二のこい 社日 北成口あり

毎月方のてくまると非なり 社日 北成口あり

経巻を王女の白の白なりは 社日 北成口あり

社日の百字よりて息を謝と云ふ 社日 北成口あり

焼酎 焼ややく 社日 北成口あり

焼酎 焼ややく 社日 北成口あり

切せの 社日 北成口あり

お月流りまじも 社日 北成口あり

怒とほと出 社日 北成口あり

はあの一 社日 北成口あり

桂 社日 北成口あり

四季部三月

上 〇十四



水菜 ミヅナ 系一 ミヅナ 子代の一 ニラ 蕪 ニラ 蕪 ニラ 蕪

菜の花 ダイコン 大根の花 シヨボク 菊 クワ 五加皮 ウコギ 連翹 マコト 芍薬 シャクヤク 牡丹 ボタン 芍薬 シャクヤク 牡丹 ボタン

接木 ツバキ 一植 ツバキ 接木 ツバキ 接木 ツバキ 接木 ツバキ

紅梅 コウバイ 八重梅 コウバイ 雁 キガシ 雁 キガシ 雁 キガシ 雁 キガシ

一花 ヒトハナ 一葉 ヒトエフ 一葉 ヒトエフ 一葉 ヒトエフ 一葉 ヒトエフ

地穴 チアナ 地穴 チアナ 地穴 チアナ 地穴 チアナ 地穴 チアナ

井 イ 井 イ 井 イ 井 イ 井 イ

松茸 マツタケ 松茸 マツタケ 松茸 マツタケ 松茸 マツタケ 松茸 マツタケ

引 ヒキ 引 ヒキ 引 ヒキ 引 ヒキ 引 ヒキ

雲雀 クモドリ 雲雀 クモドリ 雲雀 クモドリ 雲雀 クモドリ 雲雀 クモドリ

物 モノ 物 モノ 物 モノ 物 モノ 物 モノ

麻 アサ 麻 アサ 麻 アサ 麻 アサ 麻 アサ

馬刀 ウマカ 馬刀 ウマカ 馬刀 ウマカ 馬刀 ウマカ 馬刀 ウマカ  
魚取 イサトリ 魚取 イサトリ 魚取 イサトリ 魚取 イサトリ 魚取 イサトリ  
風中 カゼナカ 風中 カゼナカ 風中 カゼナカ 風中 カゼナカ 風中 カゼナカ

四月 シゲツ 姑洗 ニハヤヒ 清明 セイメイ 穀雨 コクウ 中 ナカ 季春 キシュン

暮春 ボクシュン 五陽 ゴヤウ 載陽 サイヤウ 竹林 チクシン 殿春 テンシュン

殘春 ザンシュン 晚春 ワンシュン 病月 ヘイゲツ 嘉月 カゲツ 禁月 キンゲツ

花光 ハナヒかり 花浪 ハナナみ 花月 ハナツキ 梅月 ウメツキ 梅生 ウメナマ

春月 ハルツキ 春月 ハルツキ 春月 ハルツキ 春月 ハルツキ 春月 ハルツキ

大和 オホヤマト 大和 オホヤマト 大和 オホヤマト 大和 オホヤマト 大和 オホヤマト

神武 カムヤマト 神武 カムヤマト 神武 カムヤマト 神武 カムヤマト 神武 カムヤマト

元 ゲン 元 ゲン 元 ゲン 元 ゲン 元 ゲン

曲水宴 キョクスイエン 曲水宴 キョクスイエン 曲水宴 キョクスイエン 曲水宴 キョクスイエン 曲水宴 キョクスイエン



小-の-木	一-の-花	山吹	梅	桃	杏	李	櫻	牡丹	芍薬	薔薇	桔梗	朝顔	ひまわり	菜の花	向日葵	たんぽぽ	たんぽぽ	たんぽぽ
カキ	ハコ	シロ	ウメ	モモ	アンズ	シズカ	サクラ	フリス	ペオン	バラ	キリシ	アサガ	ヒマ	アザ	ヒナ	タン	タン	タン
花	木	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花
花	木	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花

花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の...

小-の-木	一-の-花	山吹	梅	桃	杏	李	櫻	牡丹	芍薬	薔薇	桔梗	朝顔	ひまわり	菜の花	向日葵	たんぽぽ	たんぽぽ	たんぽぽ
カキ	ハコ	シロ	ウメ	モモ	アンズ	シズカ	サクラ	フリス	ペオン	バラ	キリシ	アサガ	ヒマ	アザ	ヒナ	タン	タン	タン
花	木	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花
花	木	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花	花

花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の... 花の...

四季部 四月 上 〇十七



杜和系 日正 梅系 日正 大津系 上ノ灰  
 山崎日使 四ノ上 平安寺系 上ノ灰 久世系 四ノ上  
 山科系 上ノ灰 佐吉系 上ノ灰 南家系 上ノ角  
 山系 中申 山系 日正 菅家系 中午  
 虎杖系 中申 正系 中申 土塔舎 大坂  
 ろーろね アラコチ 花供 大坂の祓  
 まるまろ 鷹 毛よりとる  
 子規 ホト、キス 神のー 荒れもの 改 改り大 改り  
 法古 堀切 堀切 堀切 堀切 堀切 堀切 堀切 堀切  
 鹿の袋角 初経 堀切 堀切 堀切 堀切 堀切 堀切 堀切

老常 丸一 卯の屯 一二月 三つ木 雷のー  
 夏木立 山 竹花 砂の屯  
 菓子花 梅相の花 子樹梅の屯  
 法本の花 梅相の花 梅相の花 梅相の花 梅相の花 梅相の花  
 桃の花 梅相の花 梅相の花 梅相の花 梅相の花 梅相の花  
 牡丹 サクキ 名花系 名花系 名花系 名花系 名花系  
 芍薬 名花系 名花系 名花系 名花系 名花系 名花系  
 花 名花系 名花系 名花系 名花系 名花系 名花系  
 龍胆 名花系 名花系 名花系 名花系 名花系 名花系  
 鳳仙 名花系 名花系 名花系 名花系 名花系 名花系  
 白丁 名花系 名花系 名花系 名花系 名花系 名花系

四季部 五月 上 ○十九

法草 女草 毛 玉 草  
 落毛 牛林 雲天 雲天  
 初加子 豆種 新茶 煎茶 飯  
 根芽 一取 一書 一行  
 安居 夏 一花 百り

六月 獲賓 芒種 夏至 仲夏  
 盛夏 夏半 南沈 茂林 藪輝  
 蒲月 午月 臯月 轉月 榴月  
 四五月 早苗 早月 月 月  
 梅五月 丹生川 赤 赤 赤 東照

神農月次 節帛 葛 葛 葛

端午 艾虎 蒲人 名老 夜非  
 人形 葛 蒲 刀 目 脇 差  
 日 針 查

一のかき 一ひく 一机 一酒 一の祭  
 一太刀 一ひく 一湯 一吹 一の佩  
 一のあやめ 一のあやめ 一のあやめ

粉圍村 粉圍村 粉圍村  
 粉圍村 粉圍村 粉圍村

鳥車 鳥車 鳥車  
 鳥車 鳥車 鳥車

印地赤 印地赤 印地赤  
 印地赤 印地赤 印地赤

十とりて津佐子 八坂糸 十廿 札幌糸 十五白  
備ふりなり  
執(田)糸 廿百 有母の目 四廿廿 村上を白  
一施道とも侍妻なごてふけしめをまきなり飯を侍  
妻あり又なりとのひなりしを

任吉田 日 山田 日 大後 二十日  
任吉田 日 山田 日 大後 二十日  
任吉田 日 山田 日 大後 二十日  
任吉田 日 山田 日 大後 二十日

おけり 丹後 丹波 丹前 丹後 丹波 丹前 丹後  
おけり 丹後 丹波 丹前 丹後 丹波 丹前 丹後  
おけり 丹後 丹波 丹前 丹後 丹波 丹前 丹後

羽根 法名 法名 法名 法名 法名 法名 法名  
羽根 法名 法名 法名 法名 法名 法名 法名  
羽根 法名 法名 法名 法名 法名 法名 法名

新川 一 船 一 繩 一 の 藩 歩 行 一  
新川 一 船 一 繩 一 の 藩 歩 行 一  
新川 一 船 一 繩 一 の 藩 歩 行 一

常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤  
常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤  
常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤 常盤

照射 照射 照射 照射 照射 照射 照射 照射  
照射 照射 照射 照射 照射 照射 照射 照射  
照射 照射 照射 照射 照射 照射 照射 照射

魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚  
魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚  
魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚 魚

早丸 早丸 早丸 早丸 早丸 早丸 早丸 早丸  
早丸 早丸 早丸 早丸 早丸 早丸 早丸 早丸  
早丸 早丸 早丸 早丸 早丸 早丸 早丸 早丸

玉一 ところりの 子安女 まゆ つゆの  
 山ゆり 庄代の 首さまり 田舎しら  
 忘多也 萱草 スエツム 花のえん 常浦 永三根  
 一の枕 池の 金銀也 君みん 藤の花 一と何  
 夏菊 香梅 ぬき梅 天南星 地蔵草 改帳  
 未夷柳 玉露花 玉露花 玉露花 玉露花  
 刈葱 カリギ 蓮 一竹 新 一と何  
 栗一 栗一 栗一 栗一 栗一 栗一  
 替豆門 既豆門 煎子 サマツ 子初夢  
 蒼木焼 梅ふり 梅ふり 梅ふり 梅ふり  
 黒人 白人 仲の 一と何

七月

林鐘 律 小暑 大暑 中 季夏  
 暁夏 永夏 九陽 瓜期 旦月  
 遯月 二陰 陽水 水月 冥月  
 風竹 鳴神月 七月 精陽 涼月  
 建勳祭 一日山坂 賜冰日 四日 氷の貢  
 水鏡 一と何 一の橋 一のめ  
 靖國社 角舩 七日 万生館 四百より 一の橋  
 六月令 四日 祇園會 廿七日 中社より 甲子年 永三根  
 安房祭 十日  
 津川祭 十二日 梅津 津川祭 四十四日  
 梅成公 梅成公 梅成公 梅成公  
 梅成公 梅成公 梅成公 梅成公  
 梅成公 梅成公 梅成公 梅成公





海の白布 白の白布 白の白布 白の白布  
 白の白布 白の白布 白の白布 白の白布  
 白の白布 白の白布 白の白布 白の白布  
 白の白布 白の白布 白の白布 白の白布

夏草 夏の草 夏の草 夏の草  
 夏の草 夏の草 夏の草 夏の草  
 夏の草 夏の草 夏の草 夏の草  
 夏の草 夏の草 夏の草 夏の草

竹の皮 竹の皮 竹の皮 竹の皮  
 竹の皮 竹の皮 竹の皮 竹の皮  
 竹の皮 竹の皮 竹の皮 竹の皮  
 竹の皮 竹の皮 竹の皮 竹の皮

麻の織 麻の織 麻の織 麻の織  
 麻の織 麻の織 麻の織 麻の織  
 麻の織 麻の織 麻の織 麻の織  
 麻の織 麻の織 麻の織 麻の織

浴衣 浴衣 浴衣 浴衣  
 浴衣 浴衣 浴衣 浴衣  
 浴衣 浴衣 浴衣 浴衣  
 浴衣 浴衣 浴衣 浴衣

上州新絹 上州新絹 上州新絹 上州新絹  
 上州新絹 上州新絹 上州新絹 上州新絹  
 上州新絹 上州新絹 上州新絹 上州新絹  
 上州新絹 上州新絹 上州新絹 上州新絹

福り雲雀 福り雲雀 福り雲雀 福り雲雀  
 福り雲雀 福り雲雀 福り雲雀 福り雲雀  
 福り雲雀 福り雲雀 福り雲雀 福り雲雀  
 福り雲雀 福り雲雀 福り雲雀 福り雲雀

**蠶** (スズメシ) 旧七月十五  
**刺鰭** (サシサバ) 七月十五  
**初鰯** (ハシリ) 七月十五

**洗鰻** (アヒ) 鰻の鰻  
**脊鰻** (セウシ) 鰻の鰻  
**鰻** (アヒ) 鰻の鰻

**水飯** (スエシ) 飯の飯  
**黄酒** (ワウ) 酒の酒  
**酒** (サケ) 酒の酒

**香織** (トリモチツキ) 織の織  
**扇** (アキ) 扇の扇  
**心太** (ココロ) 心の心

**酒** (サケ) 酒の酒  
**酒** (サケ) 酒の酒  
**酒** (サケ) 酒の酒  
**酒** (サケ) 酒の酒

**酒** (サケ) 酒の酒  
**酒** (サケ) 酒の酒  
**酒** (サケ) 酒の酒  
**酒** (サケ) 酒の酒

秋

少皞 日本 金布 日上 奉收 日上 爽 爽  
晏天 白藏 金高 金高 金高  
陰中

八月

夷則 律 立秋 立秋 立秋 立秋 立秋

相林 素林 初林 首林 上林

新林 早林 蘭林 明林 草月

相月 淨月 女月 文月 文月

水月 武月 少月 大月 大月

男山 山 鹿兒島 名和 名和

之島 伊豆 鹿島 鹿島 鹿島

福倉 福倉 福倉 福倉 福倉

七夕 七夕 七夕 七夕 七夕

女七夕 早の契 二早 三早 四早 五早 六早 七早

秋

少皞 日本 金布 日上 奉收 日上 爽 爽  
晏天 白藏 金高 金高 金高  
陰中

八月

夷則 律 立秋 立秋 立秋 立秋 立秋

相林 素林 初林 首林 上林

新林 早林 蘭林 明林 草月

相月 淨月 女月 文月 文月

水月 武月 少月 大月 大月

男山 山 鹿兒島 名和 名和

之島 伊豆 鹿島 鹿島 鹿島

福倉 福倉 福倉 福倉 福倉

七夕 七夕 七夕 七夕 七夕

女七夕 早の契 二早 三早 四早 五早 六早 七早

七夕のめ 梶の草履

林まうら

天の川

根降 根降 根降 天海

星阿 清阿 工阿 千阿

早合の屋 門つゞ

新の橋 雁橋のけし

紅葉の橋

素更船

乞巧奠 乞巧奠

ねのひのり

乞巧針

七色の針 七色の針

七種の船

七種の船

七種の船 七種の船

七種の池

七種の池

七種の池 七種の池

梶の葉

梶の葉

梶の葉 梶の葉

池の坊七夕の三花

花の舟

花の舟 花の舟

花の舟

花の舟

花の舟 花の舟

花の舟

花の舟

花の舟 花の舟

花の舟

花の舟

花の舟 花の舟

花の舟

花の舟

花の舟 花の舟

花の舟

花の舟

花の舟 花の舟

花の舟

花の舟

花の舟 花の舟

四季部八月

上 〇廿五



樗花 ケントウワ けらけり

樗花より採集した時の葉

蘭 ラン

芭蕉 バジュウ

早稻 サエ

早稲の穂

まんどろい マンドロイ

マンドロイの葉

マンドロイの葉

蓮の葉 レンノハ

蓮の葉

蓮の葉

楓の実 カエデノミ

栲木 カシノキ

栲木の葉

楸 クハ

樟木 カシノキ

樟木の葉

檜 ヒノ

楸 クハ

楸の葉

ハハ

苧草花 オウゴクハ

苧草花

アハ

葛花 カヅラハ

葛花

ハハ

葛花 カヅラハ

葛花

ハハ

葛花 カヅラハ

葛花

ハハ

葛花 カヅラハ

葛花

ハハ

葛花 カヅラハ

葛花

源標 ゲンビョウ

蜀黍 シヨクシ

粟の穂 アハホ

青毛 アヲ

百日白 ヒツシロ

檉膏 セイヨウ

秋風 アキカゼ

初風 ハツカゼ

新涼 シンリョウ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

秋風 アキカゼ

九月

南昌 ナンシヤウ

仲秋 チュウシュウ

清秋 セイシュウ

桂月 ケイグヱツ

仲高 チュウタカ

植秋 チキウ

眩月 ケンゲツ

厚来月 コウライグヱツ

秋風月 アキカゼグヱツ

月見月 ツキミグヱツ

四季部九月

上 〇廿七



るくー 鴈 <sup>カリ</sup> 一ノ収 一ノ書 一ノ使

たのー 一ノ風 天律 <sup>イナオセ</sup> 一ノ使 一ノ使

暖まー 一ノぬき <sup>モズ</sup> 一ノぬき 一ノぬき

あたー 一ノぬき <sup>クサ</sup> 一ノぬき 一ノぬき

木鬼 <sup>ワタル</sup> 一ノぬき 一ノぬき

少名 <sup>イロ</sup> 一ノぬき 一ノぬき

中尾 <sup>ヒツ</sup> 一ノぬき 一ノぬき

江船 <sup>サヒアエ</sup> 一ノぬき 一ノぬき

中船 <sup>イシヒキ</sup> 一ノぬき 一ノぬき

法魚 <sup>イロノウ</sup> 一ノぬき 一ノぬき

下集 <sup>クダリマナ</sup> 一ノぬき 一ノぬき

川流 <sup>カハ</sup> 一ノぬき 一ノぬき

燕之 <sup>ツバメ</sup> 一ノぬき 一ノぬき

江船 <sup>エナ</sup> 一ノぬき 一ノぬき

かー 一ノぬき 一ノぬき

とみま 一ノぬき 一ノぬき

ハ木 一ノぬき 一ノぬき

けりや 一ノぬき 一ノぬき

植りけ 一ノぬき 一ノぬき

植り 一ノぬき 一ノぬき

田の 一ノぬき 一ノぬき

鹿た 一ノぬき 一ノぬき

一ノぬき 一ノぬき

一ノぬき 一ノぬき

法木 一ノぬき 一ノぬき

夢の 一ノぬき 一ノぬき

法木 一ノぬき 一ノぬき

法木 一ノぬき 一ノぬき

法木 一ノぬき 一ノぬき





キフネ 四十九と六月丁  
下巻 四丁

白川 四丁  
例幣 日

後の月 四丁  
栗名月 月名

佐治の市 日  
日蓮住持の儀 日

天馬一條舎 大坂  
山倉 四丁

山倉 日  
神田の市 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

伊勢古遣 日  
伊勢古遣 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

新井 日  
新井 日

香樹梅 柑子 併み柑 柑  
 仙露 芳の種 芭蕉種 芭蕉種  
 佛甲茶 小蓮花 香牡丹 香牡丹  
 茶天 菊 薑 荔枝 漆紅 一加とらも

うし 柑 柑山の色 芳のうし 香もみち 柑山のうし  
 海むら山 柑神 芳のうし 香もみち 香もみち

菌 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち  
 流一 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち

尾花 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち  
 菊 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち

小標 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち  
 茶天 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち

新酒 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち  
 新酒 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち

新酒 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち  
 新酒 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち

冬

巖頂 冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬  
 律極 冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬  
 守燈 冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬 冬

新酒 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち  
 新酒 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち  
 新酒 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち  
 新酒 芳のうし 香もみち 香もみち 香もみち

十一月 應鐘 律 立冬 霜 小雪 孟冬

折木 本朔 橘陽 初冬 新冬 早冬

亥冬 上冬 春之心 虹藏 始冰

正陰 陽月 小春 正月 年陽の月

一之月 初霜 十一月 冬月 伊集丹外

律送 一日 律の初 律集 律の集

らほらほとも古来より用ひありし

まを起二年九月を起し十月十日は

あつ毎々感果を起す内打而官の

てはるとあけて一と一と一と一と

群はと福と福とと福とと福とと

なり 遠慮忌 四者 水戸祭 七

身福も法も 四者 新嘗祭 十

維摩忌 四者 今更に 今更に

日蓮正統 十位念佛 まるりふ

淡山忌 十七日 大木 東福の山忌

表儀 四者 法中の高人 表儀

法勝ち大忌 四者 結魂祭 七

新嘗祭 八日 新嘗祭 新嘗祭

月牙 冬月 霜 初一 村一 片一

露 冬月 霜 初一 村一 片一

涙雨 入液 冬の雨 初霜

初霜 冬の雨 初霜

雪 冬の雨 初霜

枯木 冬の雨 初霜

垣崩 冬の雨 初霜

細代 アジロ 一木 一木 一木 一木

進幅炭 唐の炭

炭 スミ 一炭 一炭 一炭 一炭

橋 橋 一橋 一橋 一橋 一橋

楯 ホ 一楯 一楯 一楯 一楯

落葉 オチバ 一落葉 一落葉 一落葉 一落葉

川 カハ 一川 一川 一川 一川

麦府 ムギマキ 一麦府 一麦府 一麦府 一麦府

お茶 オチ 一お茶 一お茶 一お茶 一お茶

茶 チ 一茶 一茶 一茶 一茶

鴨 カモ 一鴨 一鴨 一鴨 一鴨

水 ミヅ 一水 一水 一水 一水

子 コ 一子 一子 一子 一子

峯 ミネ 一峯 一峯 一峯 一峯

ちりくち

骨の子 カゴシ 一骨の子 一骨の子

鯉 コイ 一鯉 一鯉 一鯉 一鯉

ゆ ユ 一ゆ 一ゆ 一ゆ 一ゆ

糸 イト 一糸 一糸 一糸 一糸

今衣 イマエ 一今衣 一今衣 一今衣 一今衣

紙子 カミコ 一紙子 一紙子 一紙子 一紙子

革羽織 カハオリ 一革羽織 一革羽織 一革羽織 一革羽織

人の名は四十八の本形を以て大詰ありあるを以て是等は  
十月へとうこ一勝は是より法と知むるをいふ  
妙善縁 四徳を以ての縁を以て十月十日一都くの縁は伴者  
相と伴人唯是を平家など  
後り返夜とともなり

檀槽 セウサウ 一檀槽 一檀槽

十二月

冬 律 大雪 冬至 仲冬

霜晨 成冬 芸生 冬令

陽後 晷知 星紀 冰壯 霄瑞

子月 辜月 暢月 復月 霽月

天官 非樂月 霽月 霽月

香見月

朔旦冬至 十月十日 陽の月 陽の月 陽の月

一陽佳音 十月十日 陽の月 陽の月 陽の月

子孫の命を以てその命を以てその命を以て

此の徳を以て 芝居新見世 芝居新見世

神叩 神叩 神叩 神叩 神叩

袴着 袴着 袴着 袴着 袴着

此の徳を以て 此の徳を以て 此の徳を以て

大師 大師 大師 大師 大師

早急 早急 早急 早急 早急

大花 大花 大花 大花 大花

少花 少花 少花 少花 少花

加 加 加 加 加

徳社 徳社 徳社 徳社 徳社

後 後 後 後 後

大 大 大 大 大

山 山 山 山 山

山 山 山 山 山

山 山 山 山 山

山 山 山 山 山

東三條祇樂 四ノ下

南麻樂 口

平理樂 四ノ下

喜白樂 口

吉田樂 四ノ下

日吉樂 口

松中樂 四ノ下

率川樂 四ノ下

日吉陣討 四ノ下

賀茂陣討樂 口

國韓祇樂 四ノ下

雷 このむ 雷のむ くるむ 雷 くら雷 雷の音

ちびく 一柳子 一女の肌 一やけ 一くさ

雷車 雷の上の車なり

吹雪 雪を風吹く

氷柱 氷の柱なり

氷 氷のむ 氷のむ 氷のむ

凍 凍のむ 凍のむ

氷 氷のむ 氷のむ

東三條祇樂 四ノ下

平理樂 四ノ下

日吉樂 口

日吉陣討 四ノ下

國韓祇樂 四ノ下

雷 このむ 雷のむ くるむ 雷 くら雷 雷の音

ちびく 一柳子 一女の肌 一やけ 一くさ

雷車 雷の上の車なり

吹雪 雪を風吹く

氷柱 氷の柱なり

氷 氷のむ 氷のむ

凍 凍のむ 凍のむ

氷 氷のむ 氷のむ

このむとけひ合はるや年々ちの相見えはれて己の相と  
合はるや年々ちの相見えはれて己の相と

鷹 鷹のむ 鷹のむ

鷹 鷹のむ 鷹のむ

鷹 鷹のむ 鷹のむ

鷹 鷹のむ 鷹のむ

鷹 鷹のむ 鷹のむ

鷹 鷹のむ 鷹のむ

鷹 鷹のむ 鷹のむ

鷹 鷹のむ 鷹のむ

鷹 鷹のむ 鷹のむ

鷹 鷹のむ 鷹のむ

鷹 鷹のむ 鷹のむ

とらふーハエラト蓬  
 法本也 大山樞 榎のむ  
 水仙 全盛福巻 ニンジン ヒキ 大根引 大根のり  
 薑引 ヒシカ 新生姜 薑の下 日ミツナ 糸菜  
 葱 ねが びとろ 羊舌 朝味噌  
 玉子酒 タマコサケ 生薑 湯豆腐 茹蕎麦  
 煎茶沙を ねが そば湯 肝 肝  
 水漬 ミツナ 餅搗 餅搗 餅搗 餅搗  
 若結の改 チヤクダ マリゴト シハス 四月 若結の改 餅搗  
 年の布 年の布 年の布 年の布  
 螺むさ 螺むさ 螺むさ 螺むさ  
 古札納 古札納 古札納 古札納  
 暦の末 暦の末 暦の末 暦の末  
 星佛うる 星佛うる 星佛うる 星佛うる  
 宝船賣 宝船賣 宝船賣 宝船賣  
 首香候 首香候 首香候 首香候

一月の傍お 一月の傍お 一月の傍お 一月の傍お  
 同かん 同かん 同かん 同かん  
 三十日 三十日 三十日 三十日  
 くらげ海 くらげ海 くらげ海 くらげ海  
 年の書 年の書 年の書 年の書  
 大正魂系 大正魂系 大正魂系 大正魂系  
 掛取 掛取 掛取 掛取  
 大三千日 大三千日 大三千日 大三千日

新撰  
明治歳時記  
草案の上  
終



